

進路だより 12月

富岡特別支援学校
移行支援部 No. 8
令和2年12月18日(金)

いよいよ2学期も終了です。今回の進路だよりは、3学部の移行支援部の先生の視点でお知らせします。
また高等部では、年明け早々、校内実習・現場実習があります。ご協力の程、よろしくお願い致します。

小学部 (文責：篠崎)

学校周辺にある身近な施設や公園、高等部などに行き学習しました。学校の周辺にはどんなところがあるのか、また図書館の使い方など、楽しみながら学び地域への理解を深めています。

高等部に行ってみよう！



街探検に行こう！



図書館で本を借りよう！



中学部 (文責：堀江)

作業学習では、重点目標である「報告」や「質問」がしっかりできるようになってきました。作業内容も徐々に難しくなり、手縫いやミシン、機織りなど、高等部での作業学習につながる基礎的な力が付いてきました。また、「ちゃれんじタイム」(総合的な学習の時間)では、できるだけ自分の力で「調べる」「選ぶ」「やってみる」ことをあらゆる学習活動を通して行ってきました。1学期に育てた蚕の繭から自作の道具で糸取り体験をしたり、将来の余暇活動に生かすことを目的に、体育の授業ではあまり体験しないスポーツを楽しんだりしました。

作業学習



手縫い



機織り

糸取り



ちゃれんじタイム



新体操



柔道



バドミントン

高等部 (文責：今井)

12月11日(金)1年生進路ガイダンスとして、西毛病院事務次長大石尚様より、ご講話いただきました。初めに、生徒に向けて「卒業までに、みなさんが身につけておいてほしいこと」をテーマに、挨拶や感謝ができること、謝ることができること、ルールや約束を守れることなどの基本的な人との関わりの大切さを丁寧に伝えてくださいました。また、「知る→わかる→できる→身につく」まで一歩一歩、ステップアップしていくことの大切さをわかりやすくご説明いただき、生徒の心にも印象に残った様子でした。次に、保護者に向けて「自立を育む関わり方」をテーマにご講話いただきました。子どもたちの自立に向けて「Being=あり方(誠実、正直、素直、責任感など)」を育むことの大切さについてお話くださいました。大人がどのように向き合い、支援すべきかを深く考えさせられました。参加いただいた保護者の方からは「言い方一つで人は変わると思いました」「結果を見るのではなく、あり方を見て認めてあげる育て方をしようと思います」「『身につく』には繰り返してすることの大切さ、分からなかったら聞くことの大切さを改めて思いました」などのご感想をいただきました。大変ありがとうございました。

